

同窓会 たより



千葉大学看護学部・
看護学研究科同窓会

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL 043-222-7171
ホームページ <http://www.n.chiba-u.jp/dousokai/index.html>

ご挨拶

同窓会会長 岡田 忍 (3期)

今年の千葉の冬は昨年のような大雪に見舞われることなく、3月の終わりには初夏を思わせるような暖かい日が続いて桜が一気に満開となりました。同窓生の皆様もいろいろなところでお花見を楽しまれたことと思います。この4月からは37期生が新しく同窓会に加わりました。37期生は東日本大震災のあった年に入学し、入学式が中止になったり、同期生になる予定の仲間が津波で命を落とすなど、震災直後の混乱の中で大学生活をスタートさせた学年でした。そのせいでしょうか、37期生の学位授与式は、いつもに比べて何か感慨深いものがありました。

昨年のあいさつでもお伝えしたように、今年は、看護学部創立40周年に当たり、4月には40期生が入学してまいりました。同窓会では40周年を記念すべく記念集会の開催と記念誌の発行を行います。facebookも立ち上がり、リアルタイムで亥鼻の情報を発信していきます。是非、ご覧いただき、多くのメッセージ、「いいね!」をお待ちしています。また、今年のためによりありますように管理棟が改修されましたので、是非記念集会に足をお運びいただき、新しくなった学び舎の姿を見にいらしてください。40周年に関する様々な活動が、母校と同窓生、同窓生どうしをつなぐきっかけになることを心より願っております。

40周年記念に関する活動以外には、同窓会の存在を意識してもらえよう取り組みとして、昨年度に引き続き準会員であ

る学部学生の学術集会参加費に対する助成を行いました。総務委員会の積極的な周知活動が功を奏し、今年は7名の応募があり、全員に助成を行いました。また、規約の改正によって準会員も委員会の委員として同窓会の活動に加わることができるようになりました。新しい委員会の名簿案をみますと様々な期にわたっており、これに準会員が加わることによって、同窓会活動が一層活発なものになることを期待しています。

最後に例年のこととなりますが、個人票の返送についてこの場をお借りしてお願いしたいと思います。個人票のデータの管理は、信頼できる業者に依頼して様々な情報漏えいのための保護をかけた上で厳重に行っております。個人票の記載内容は、単に卒業生の動向を把握するためのものではなく、母校である看護学部・看護学研究科がどのような人材を輩出してきたのかという証しであり、何物にもかえがたい貴重な財産です。今年も必ずご返送くださいますようよろしくお願いいたします。

同窓会活動のより一層の発展に向け、平成27年度の活動方針として以下の2つを提案します。

平成27年度活動方針：

- ①準会員に対して同窓会行事への参加や学術集会参加費助成への応募などを呼びかけ、準会員と同窓会とのつながりを強化する。
- ②看護学部・看護学研究科と合同で40周年記念事業を開催し、これを通じて期を超えた同窓生どうしの交流をはかる。

ご挨拶

看護学部長・看護学研究科長 宮崎 美砂子

みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。亥鼻の桜が美しく咲き誇り、ただいま看護学部の中庭が一番美しい季節を迎えております。千葉大学看護学部の卒業生は、この3月で3,133名となり、大学院看護学研究科の修了生は964名(前期課程710名、後期課程158名、修士課程(看護システム管理学専攻)96名)となりました。国内外の様々な場での卒業生のみなさまの活躍を大変うれしく、誇らしく感じております。

今年は看護学部創立40周年を迎えます。看護学部として記念誌の発行及び同窓会主催の卒業生集会への協力を計画しております。節目となるこの時期に、本学部・研究科の将来展望をみなさま方と一緒に考える機会として参りたいと思っております。

さて看護学部・看護学研究科の近況について、2つのニュースをお知らせしたいと思います。1つめは、本研究科の看護学専攻の教育研究組織を平成27年4月から、3講座(先端実践看護学、生活創成看護学、文化創成看護学)7分野(高度実践看護学、高齢社会実践看護学、健康増進看護学、地域創成看護学、文化看護学、専門職育成学、看護政策・管理学)に再編成しました。これは超高齢社会、グローバル社会の到来を踏まえ、この先10年の看護学の学術構築を見据えて再編したものです。また

附属のセンターとして看護実践研究指導センターに加え、平成27年1月に専門職連携教育研究センター(略称IPERC; アイパーク)を設置しました。これは千葉大学看護学部が医学部・薬学部・附属病院と共にこれまで推進してきた専門職連携教育の実績が認められ、本研究科附属として設置したもので、国内外の専門職連携教育研究の拠点となることをねらいとしています。

さて大学組織の研究力を図る物差しの1つとして、文部科学省の科学研究費補助金の獲得状況があります。昨年度文部科学省は初めて過去5年間の細目別採択件数上位機関を公表しました。看護学では6領域のうち4領域において本学が同補助金獲得数トップを獲得しており、改めて、看護学の諸分野に対して学術構築の基盤となる研究に本学が着実に取り組んでいることを確認しました。喜んでばかりもいられません。国立大学の機能強化の大波が千葉大学及び本学部・研究科に押し寄せており、教育研究の質の充実と国際社会への発信力がこれまで以上に評価される時代を迎えております。時代の波に翻弄されることなく着実に進むべきことを見失わずに、グローバル社会の中での千葉大学看護学部・看護学研究科の存在価値を高めて参りたいと思っております。

今後、同窓会と緊密な連携をもたせていただきながら、ホームページや、各種ご案内等により、情報発信に努めてまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成26年度 総会報告

平成26年7月5日(土)15時10分から、看護学研究科第1講義室にて同窓会総会を開催しました。総会では、会長挨拶の後、総務委員会から、平成25年度の入会状況と、学部生卒業時の入会率100%を目指して勧誘をしていること、名簿委員会からは、会員データベースの更新のための個人票の返送率が低く、督促状による催促を行っていくこと等が説明されました。また、たより委員会からは、平成26年5月にたよりを発行したこと、広報渉外委員会からは、平成25年度同窓会企画「創設期の看護学部を知ろう!~千葉大学看護学部の過去・現在・未来~」の開催、卒業生及び修了生への記念品贈呈等が報告されました。また、平成25年度の会計監査について報告され、承認されました。

平成26年度の新役員が選出され、平成26年度の活動方針について、岡田会長より、①準会員の学術集会参加費助成など、準会員に対する支援についてより一層アピールし、在学中から同窓会とのつながりを強化する、②平成27年度の40周年に向けて10年間の同窓生の動向等を振り返ると共に、記念事業の準備を進めることが提案され、承認されました。また、総務委員会から、学部生の準会員に対して学術集会参加費を引き続き1人5,000円を限度に40名まで行うこと、同窓会規約の一部改正が提案され、承認されました。名簿委員会からは、会員数の増加に伴い、連絡先等不明者が増加しているのを、把握できるものと不明なものの整理を進めていくこと、たより委員会からはたよりの発行、広報渉外委員会からは、入学生及び卒業生・修了生への記念品贈呈、ホームページ更新が提案され、承認が得られました。さらに、会長より平成27年9月13日(日)にのみのはな記念講堂(医学部記念講堂)で開催する千葉大学看護学部創立40周年記念事業について、テーマは「進化し続けるフロントランナー—看護学の未来を創る—」とし、記念集会、記念誌作成、記念品製作、懇親会を行うことが説明されました。さらに、同窓会より、記念集会及び記念誌の作成に対して助成金を出すことが提案され、承認されました。なお、看護学部・看護学研究科のデータ集として作成する記念誌別冊の費用は大学へ予算申請する予定であることが説明されました。平成26年度の活動予定に対して、平成26年度予算案が審議され、承認されました。

資料1

平成26年度 決算報告

※1 予算との比較(計算式)収入『決算-予算』、支出『予算-決算』、△表記⇒マイナス、無印⇒プラス

正会員の収支		予算	決算	予算との比較※1
収入の部	計	8,495,901	8,492,410	△3,491
1. 会費	計	1,260,000	1,284,000	24,000
25年度新入会員終身会費(12,000円×107名) (内訳 11N卒業生 89名 修了生19名)		1,260,000	1,284,000	24,000
2. 企画委員会	計	3,500	0	△3,500
記念誌代		3,500	0	△3,500
3. 名簿委員会	計	30,000	6,000	△24,000
名簿代振込(3,000円×2冊分)		30,000	6,000	△24,000
4. 利子	計	200	209	9
総合口座 209円		200	209	9
5. 繰越金	計	7,202,201	7,202,201	0
支出の部	計	8,495,901	8,492,410	3,491
1. 理事会	計	232,000	129,014	102,986
1) 会議費		5,000	0	5,000
2) 交際費		225,000	127,000	98,000
内訳: 弔慰金 0円、亥鼻祭への寄付 50,000円 同窓会員と準会員との交流活動補助 0円 亥鼻キャンパス留学生交流会への寄付 50,000円 大学院オープンキャンパス運営補助 0円 学部学生への支援(7名助成) 27,000円				
3) 雑費		2,000	2,014	△14
2. 総務委員会	計	48,000	30,026	17,974
1) 会議費(交通費・茶菓子)		21,000	8,054	12,946
2) 郵送費(事務連絡通信費)		10,000	7,052	2,948
3) 人件費(総会アルバイト2名分)		10,000	10,000	0
4) 雑費(振込手数料、文具等)		7,000	4,920	2,080
3. 名簿委員会	計	336,500	245,358	91,142
1) メンテナンス・データ処理		120,000	24,697	95,303
2) 個人票関係費(督促ハガキ印刷発送費、個人票後納郵便代)		200,000	217,781	△17,781
3) 郵送費(バックナンバー名簿郵送代)		3,500	720	2,780
4) 謝金(個人票確認作業補助10時間分)		10,500	0	10,500
5) 雑費(振込手数料、文具等)		2,500	2,160	340
4. たより委員会	計	701,000	708,462	△7,462
1) 印刷費(たより印刷・発送費、チラシ封入代)		700,000	707,598	△7,598
2) 雑費(振込手数料、文具等)		1,000	864	136
5. 広報・渉外委員会	計	428,500	330,297	98,203
1) ホームページ更新費		45,000	35,640	9,360
2) 会議費(茶菓子代)		13,000	11,167	1,833
3) チラシ印刷代(企画チラシ印刷代、チラシ三折代)		51,000	50,640	360
4) 渉外費		305,000	227,854	77,146
内訳: 校友会費 50,000円、同窓会企画謝金・交通費 20,966円 同窓会記念品 104,760円、卒業式記念品バラ 52,128円				
5) 人件費(卒業式記念品準備作業代)		10,500	0	10,500
6) 雑費		4,000	4,996	△996
6. 40周年記念事業助成金	計	1,295,000	1,295,000	0
7. 予備費	計	5,454,901	5,754,253	△299,352

平成26年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会の会計監査を実施した結果、収支共に正当であることを認めます。

平成27年6月2日
総務 松佳淑子
小川純子

資料2

平成27年度 予算案

収入の部		計	6,920,453
1. 会費	計		1,116,000
新入会員会費(12,000円×93名) (内訳) 11N卒業生89名、修了生4名			1,116,000
2. 企画委員会	計		20,000
記念誌代(2,000円×10冊)			20,000
3. 名簿委員会	計		30,000
名簿購入見込(3,000円×10名)			30,000
4. 利子	計		200
5. 繰越金	計		5,754,253
支出の部	計		6,920,453
1. 理事会	計		432,000
1) 会議費			5,000
2) 交際費			225,000
(内訳) 弔慰金: 50,000円 亥鼻祭への寄付: 50,000円 同窓会員と準会員との交流活動補助: 40,000円 亥鼻キャンパス留学生交流会への寄付: 50,000円 大学院オープンキャンパス運営補助: 35,000円			
3) 準会員への支援			200,000
(内訳) 学部学生への学術集会参加費助成 (1件あたり5,000円×40名見込み)			
4) 雑費			2,000
2. 総務委員会	計		48,000
1) 会議費			21,000
2) 郵送費			10,000
3) 人件費(総会託児アルバイト謝金2名分)			10,000
4) 雑費(コピー代等)			7,000
3. 名簿委員会	計		345,500
1) メンテナンス・データ処理			120,000
2) 個人票関係費(督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代)			210,000
3) 雑費(郵送代・コピー代等)			5,000
4) 謝金(個人票確認作業補助10時間分)			10,500
4. たより委員会	計		701,000
1) 印刷発送費※見積もり中			700,000
2) 雑費			1,000
5. 広報・渉外委員会	計		177,500
1) ホームページ更新費			45,000
2) 会議費			13,000
3) 渉外費			105,000
(内訳) 校友会費 50,000円 卒業式記念品(バラ) 55,000円			
4) 人件費(卒業式記念品準備作業10時間分)			10,500
5) 雑費			4,000
6. 予備費	計		5,216,453

Curio(キュリオ) 千葉大学校友会SNSの 入会方法

1. <http://www.chiba-u.ac.jp/sns/>を開き、をクリックし、『Curio』入会申込書(正会員用)より、入会申込書の書式をダウンロードする。
2. 入会申込書に必要事項を記載し、本人であることを確認できる書類(運転免許証、健康保険証など)のコピーとともに、校友会事務局まで郵送かFAXで送る。
<送付先> 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 FAX 043-284-2550 千葉大学校友会事務局
3. 校友会事務局で正会員の資格を持っていることを確認したうえで、『Curio』への登録を行う。
4. 登録が完了したら、メールで連絡をする。

学術集会参加報告

平成25年度より、学部生の準会員に対して年1回5,000円を限度に学術集会の参加費を助成しています。平成26年度は7名に対して助成しました。平成27年度も助成を継続し、多くの学部生が学術集会に参加できるよう広報に力を入れていく予定です。

【学術集会参加報告】

4年次生 宮川 咲季

参加学会：第55回日本母性衛生学会学術集会 平成26年9月13～14日 幕張メッセ国際会議場

今回、数多くの講演やシンポジウムがある中で、2つの講演を聴講した。教育講演「産婦人科診療ガイドライン—産科編2014の要点を学ぼう」では、すべての妊産婦が安全な出産に向けて、同じレベルの医療・看護を受けられるように、必ずこのガイドラインの内容を知識として持っている必要があることを学んだ。また、会長講演「母性への新たな健康支援：高年初産婦への子育て支援ガイドライン開発から」では、近年増加している高年初産婦への新たな子育て支援の取組みとして大変興味深かった。高齢という個別性のある褥婦に対してケアの方針を再考する必要があると感じた。今回の学術集会への参加は、助産師として産科の現場で働く予定である私にとって、知識を深めるだけでなく、一生を通して女性や母子、家族が心身ともに健康な生活を送っていくために必要となる看護を考え、実践していく責任があることを強く感じる機会となった。

2014年度 亥鼻祭のご報告

2014年度亥鼻祭実行委員副委員長 看護学部3年 竹内 美葉

2014年11月1、2日、千葉大学亥鼻キャンパスにて第12回亥鼻祭を無事に執り行うことが出来ました。今回は1日目があいにくの雨空となり、客足も遠のいてしまいましたが、2日目は晴天に恵まれ、2,800人を超える方々にご来場いただくことが出来ました。ご来場くださった皆様に深く感謝申し上げます。

今年度のテーマは「温故知新」としました。復活後12年という歴史の中で得た経験・絆を糧として亥鼻祭を盛り上げていきたいという思いを込めました。

開催につきましては、学部の先生方や事務の方々など学内の関係者の皆様だけでなく、地域の企業の皆様、同窓会の皆様

などたいへん多くの方から、あたたかい応援のお言葉やアドバイス、寄付金をいただき、私たちの活動をご支援いただきましたこと、心から感謝いたします。

亥鼻祭では、学部や学年の分け隔てなく、一致団結して一つの目標に向かっていく学生の姿が印象深く、また、亥鼻祭によって学生どうしだけでなく先生方や地域の方ともつながりが生まれるということを実感いたしました。私自身も、看護学部副委員長として亥鼻祭に関わりましたことをとても嬉しく感じています。亥鼻祭に皆様のお力を借りながら、これからも長く愛される大学祭となるように活動してまいりますので、今後とも亥鼻祭をよろしく願いいたします。



平成26年度 同窓会企画報告

千葉大保助看法を読み解く — 千葉大出身3職種のキャリア形成 —



開催概要

日時：平成26年7月5日（土） 13：00～15：00

場所：千葉大学看護学部 第一講義室

多くの同窓生が、日本の各地で、また、世界でキャリアを積み重ね活躍し、それぞれに何か「千葉大学らしさ」を持ち合わせているように思います。そこで、平成26年は、保健師、助産師、看護師としてキャリアを積み重ねている同窓生の話をもとに、千葉大学卒業生の根幹に流れるものを探りつつ、縦横の交流を深められるシンポジウムを実施いたしました。

【参加いただいたシンポジストの皆様】

阿部 裕子氏（6期）	千葉市中央区保健福祉センター	保健師・管理職
山口佐和子氏（21期）	葛飾赤十字産院	助産師
西宮 岳氏（28期）	千葉大学医学部附属病院	看護師
	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程	

参加者からの声

- ・若い方たちは、これからのキャリア形成についてイメージを持てたのではないかと思います。もっと沢山の若い世代にきいてほしいと思いました（6期）。
- ・個人的に、出産・育児をしながらキャリアを重ねている方のお話を聞くととても元気をもらえます。ありがとうございました（28期）。
- ・3職種の方のお話を聞けて、皆悩んだり苦労したりした時期があつて、それでも今しっかりと看護職として働き続けていてすごいなと思いました。今後の自分の励みになりました（33期）。
- ・具体的にどんなキャリアstepがあるのか、お三方の例を率直なお気持ちと一緒に教えていただくことができ、とても参考になりました（学部1年生）。

企画に参加してくださった皆様、当日運営にご協力くださった皆様に厚く改めて御礼申し上げます。今後は、学部生も参加しやすく、且つ様々な年代の方と交流したいというようなご意見をいただきました。そのような企画を考えていきたいです。ご意見、ありがとうございました。

平成26年度広報渉外委員一同

委員長：石丸 美奈（12期）

副委員長：屋久 裕介（31期）

委員：石橋みゆき（14期）、時田 礼子（21期）、山下 亮子（22期）、松本美佐子（25期）、鈴木 悟子（28期）、渡邊 賢治（30期）、橋内 伸介（32期）、田中 貴大（35期）

ご寄附のお願い - 千葉大学看護学部創設40周年を記念して -

現在、40周年企画委員会では、1口 1,000円にて、皆様より寄附を受け付けております。いただきました寄附は、記念集会開催や記念誌の発行をはじめ、40周年記念事業運営のために活用させていただきます。

なお、ご協力いただける方は、同封の振込用紙に卒期（卒業生・修了生の方のみ）・氏名・口数・金額をご記入の上、平成27年9月13日までにお振込みくださいますようお願いいたします。なお、まことに恐縮ですが、振込手数料はご負担いただきたく存じます。

ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会 会長 岡田 忍
千葉大学大学院看護学研究科 研究科長 宮崎美砂子

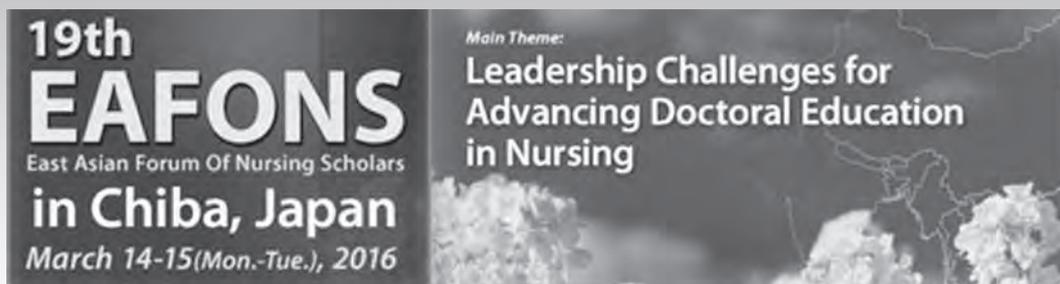
*同封の振込用紙を使用せず、他の金融機関ATMからお振込みされる場合は、以下の情報をご利用ください。

- ・振込先銀行 : ゆうちょ銀行
- ・口座番号 : 0450344
- ・加入者氏名 : 40周年記念事業
- ・店名(店番) : 019
- ・預金種目 : 当座

【お問い合わせ先】

千葉大学看護学部創設40周年記念事業
E-mail : kango-40th@chiba-u.jp

第19回東アジア看護学研究者フォーラム 開催のお知らせと寄附のお願い



7年ぶりに、EAFONSが日本で行われることになりました。
そして、千葉大学大学院看護学研究科が開催大学です。
同窓生のみなさま、ご支援をお願いいたします。

○EAFONSとは？

東アジア看護学研究者フォーラム（EAFONS）は1997年から東アジア7か国（日本、台湾、韓国、香港、シンガポール、フィリピン、インドネシア）の看護系大学の博士課程修了生、大学院学生、若手研究者のための国際フォーラムです。（<http://medicine.nus.edu.sg/nursing/eafons/>）

アジア7か国が看護系大学の博士課程の教育・研究の質の向上に向けて、2日間にわたり議論します。

○19th EAFONS

テーマ

Leadership Challenges for Advancing Doctoral Education in Nursing

公式ホームページ

<http://www.19th-eafons2016.jp>

日時と場所

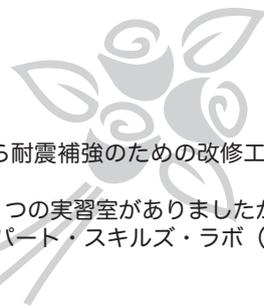
2016年3月14日（月）、15日（火）、幕張メッセ国際会議場

○ご寄附のお願い

- ・金額：1口 5,000円よりお願いいたします。
寄附いただきました方には、プログラム集にお名前を記載し、1冊謹呈いたします。ただし、本寄附金は税金控除の対象となりませんので、あらかじめご承知おきください。
- ・方法：銀行振込
最寄りのATMもしくは銀行窓口にて振込先を入力してください。誠に恐縮ですが、振込手数料はご負担願います。

振込先：三井住友銀行神田駅前支店
口座番号：1768867（普通）
口座名称：一般社団法人日本看護系大学協議会

- ・期限：平成27年9月30日（水）
- ・問い合わせ先：千葉大学19thEAFONS開催委員会事務局
FAX: 043-226-2442
E-mail: eafons19chiba-office@umin.ac.jp



管理棟がリニューアルしました！

看護学部管理棟は1976年（昭和51年）秋に新築されましたが、37年経過した2013年9月下旬から耐震補強のための改修工事が開始され、2014年3月末に竣工しました。

管理棟には、基礎看護実習室（3階）、機能・病理・保健学実習室（4階）、代謝・微生物実習室（5階）の3つの実習室がありましたが、現在の教育内容に合った設備を整え、実習室の名称もスタンダード・スキルズ・ラボ（3階）、エキスパート・スキルズ・ラボ（4階）、アセスメント・トレーニング・ラボ（5階）に変更されました。

ラボとして生まれ変わった実習室を紹介します。

スタンダード・スキルズ・ラボのご紹介

理論看護学専門領域（旧・基礎看護学教育研究分野）

永田亜希子

今回のリニューアルに伴い、スタンダード・スキルズ・ラボは、器材室と実習室を一つのスペースにしたことにより、演習スペースが広がりました。そして、プロジェクターのスクリーンを兼ねた壁一面のホワイトボードを設置し、映像教材を大画面で視聴することができるようになりました。

また、車いす用トイレや、座位での洗髪が可能な洗髪台が設置されたことにより、臨地実習で必要とされながら学内で演習ができなかった看護技術の演習を行うことができるようになりました。

さらに、エレベーターの広さが、ストレッチャーが入るようになったので、ストレッチャーによる移動の演習も可能となりました。

今後も、より看護技術の修得が高まるよう、ラボの機能を高めたいと思います。どうぞ、新しくなったラボの見学にいらしてください。

エキスパート・スキルズ・ラボのご紹介

災害看護学 特任助教 白井いづみ

2014年、看護学部管理棟の耐震改修工事に伴い、4階の実習室がエキスパート・スキルズ・ラボに生まれ変わりました。

エキスパート・スキルズ・ラボには超音波診断装置、成人や乳児の高機能シミュレータ、フィジカルアセスメントのトレーニングが行える聴診シミュレータ、全身シミュレータ、救急蘇生トレーニングのためのシミュレータや人形などが設置されています。

主に、大学院博士前期課程のCNSコースの学生に向けて開講されている「ナーシングフィジカルアセスメント」や共同災害看護学専攻の学生に向けて開講されている「災害看護活動論演習」のシミュレーション演習で使用されています。

特に共同災害看護学では、文部科学省リーディングプログラム「災害看護グローバルリーダー養成プログラム（DNGL）」を共同で実施している5大学（高知県立大学、兵庫県立大学、東京医科歯科大学、日本赤十字看護大学、千葉大学）をインターネットをつなぎ、遠隔シミュレーションを5拠点で実施するという世界でも初めての教育を行っています。シミュレーション様子を天井付カメラ2台と移動式カメラ1台で録画して、実施した行為とともにログとして記録して、後で振り返ることもできますし、他の4つの大学で実施しているシミュレーションの様子をリアルタイムで見られることもできます。5大学で協力してシミュレーションシナリオを開発したり、遠隔シミュレーションの方法を検討したりしてより効果的な教育方法の開発に努めています。仮設住宅の様子や救護所テントの様子をカーテンにして臨場感を出す工夫をして、よりシミュレーションに没入できるような環境作りにも力を入れています。

現在のところ、大学院の授業で使われているだけです。エキスパート・スキルズ・ラボの稼働率はあまり高くありません。

日本の看護系大学でもシミュレーション教育を積極的に取り入れている大学が増えてきました。シミュレーションでは、単に技術だけではなく、知識と技術を統合して態度を身につけることを目標にトレーニングを繰り返すことができます。アメリカでは臨床実習を50%シミュレーションに置き換えても国家試験の合格率や就職後の臨床実践能力に差がないという調査結果も出ていますので、今後は、学部教育にもシミュレーションを取り入れて、学部生にも積極的に使っていただけるとよいのではないかと思います。

アセスメント・トレーニング・ラボのご紹介

生活創成看護学講座 健康増進看護学教育研究分野

生体看護学領域（旧 機能・代謝学教育研究分野）

田中 裕二

生体看護学領域（機能・代謝学）および看護病態学領域（病態学）が使用するアセスメント・トレーニング・ラボには視聴覚設備（液晶プロジェクター2台、ワイヤレスマイク式）が整備されたことによって教育効果が期待されます。

生体看護学領域は6階の1フロアに配置され、教員の研究室や演習室などの他に3つ研究室（実験室）があります。特に、第1研究室には平成25年度学長裁量経費（教育研究基盤整備充実経費）で防音シールドユニットが設置されました。この防音シールドユニットによって安定した脳波（脳電図）を記録することができます。また、このユニット内は病室を再現するためにパラマウントベッド（KA-4631P）が1台設置されています。

また、実験装置としては、脳波計（日本光電；EEG-4518）、脳波の周波数解析プログラムであるEEGマッピング研究用プログラム（キッセイコムテック；ATAMAP II）、催眠レベルを0～100の数値で表示するBISモニタ（日本光電；Vista A-3000）、心拍数を計測するメモリー心拍計（ジー・エム・エス；LRR-03）および自律神経活動を算出する解析ソフトMemCalc/Tarawa（ジー・エム・エス）、体性感覚誘発電位（SEP）や聴性脳幹反応（ABR）などの各種誘発電位や筋電図を記録する誘発電位・筋電図検査装置〈ニューロパック〉（日本光電；MEB-2204）、心電計（日本光電；ECG-1550）、体温（温度）を8箇所同時に測定できる高精度8チャンネルデータロガ（日機装ワイエスアイ；N542）、痛覚刺激を電氣的に発生させることのできる電気刺激装置（日本光電；SEN-7103）などを所有しています。これらの実験装置を用いて、種々の看護ケア技術の生体に及ぼす影響を生理的に計測することができます。また、心理的な尺度と併用することで、生理心理反応を量的に解析することもできます。看護ケアにおける何気ない疑問を解明するために、パラメータを設定し、実験室レベルで研究を行うことでその疑問を明らかにすることができます。興味を持たれた方や実験を行ってみたいと思われた方など遠慮なくご連絡ください。お待ちしております。

連絡先：E-mail yuji@faculty.chiba-u.jp

個人票の返送と記入について



個人票の返送と記入について

個人票はすべての会員の方が返送してください。

個人票は、同窓会からのあらゆる連絡（たよりの発行、名簿の発送など）のための住所のもととなります。さらに、皆様から返送された個人票の情報を元に、看護学部卒業生の現在の就業状況を統計的に把握しています。これは、看護学部卒業生の現在の活動状況を知る重要かつ唯一の資料となっております。住所変更をしていなくても、個人票の返送による会員データ管理は、毎年継続しておりますので必ず返送して下さるようお願い申し上げます。

今年3月に卒業された方々も、住所に変更がなくても必ずご返送ください。

皆さまご多用のところとは存じますが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

ご注意ください。

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管し、また名簿も信頼のおける業者に作成を依頼しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。皆さまのお手元にある名簿の管理については充分にご注意いただきますようお願いいたします。古くなった名簿を破棄する場合には裁断（シュレツダ）するなどしてデータが万が一にも流出しないよう管理の徹底をお願いいたします。

個人票記入の手引き

- ☆ ご自分の個人票データについて、変更・訂正のある場合は、右側の訂正欄に修正内容をご記入ください。同封の個人情報保護シールを上貼して、情報をカバーし、ご返送ください。
- ☆ 勤務形態、設置主体、職種、職位は下記のコード表（コード表は、個人票の右側にもあります）から番号を選択し数字を記入してください。該当するものがない場合には、具体的に記してください。
- ☆ 現住所で連絡が取れないとご不便のため、帰省先の住所をお尋ねしております。
- ☆ 勤務状況については、現在就業している方は「有」、就業していない方は「無」とご記入ください。
- ☆ 現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、（在学中）とお書きください。勤務を続けたまま学生をされている方（科目等履修も含む）は、勤務状況と学校名の両方をご記入をお願いいたします。
- ☆ 近況報告について、ご記入いただいてもたよりへの掲載を希望されない方は、右のチェック欄にチェックしてください。
- ☆ 名簿に連絡先の掲載を希望しない場合は、該当する訂正欄に「不掲載」とご記入ください。

[コード表]

勤務形態：1. 正職員 2. 臨時職員（非常勤、パートタイマーなど） 3. 休暇・休業中

設置主体：1. 国立大学法人 2. 都道府県 3. 市町村 4. 公益団体 5. 学校法人 6. 医療法人
7. 個人 8. 会社

職 種：1. 看護師 2. 保健師 3. 助産師 4. 養護教諭 5. 看護教育職 6. 研究職
7. 一般職（看護職以外）

職 位：1. 非管理職：一般看護職員、一般専任教員、助手など 2. 中間管理職：主任、市町村等の係長、准教授、講師、助教など 3. 管理職：師長、教務主任、市町村等の課長、教授など 4. 看護部長、副看護部長、学部長、研究科長など

個人票返送の締め切り

平成27年6月末日までに返送してください。

「平成24年度会員名簿」の購入をご希望の方は、下記の通り申し込んでください。

予約申し込みの場合

同封の振込用紙に必要事項を記入の上、郵便振替にてご入金ください。名簿完成後、登録のご住所に送付いたします。予約は9月末までにお振り込みください。

予約申し込みを忘れ、名簿発行後購入希望の場合

1. 名簿購入希望について、同窓会名簿委員長に申し込む。連絡先：043-226-2452(看護学部学務係) その際、同窓会会員であることがわかるよう、氏名、学籍番号をご連絡ください。もしくは、直接千葉大学看護学部同窓会までお出でください。
2. 同窓会会員であることが確認できた後、購入手続きをとらせていただきます。
3. 名簿の代金について 名簿は1冊**3,000円**です。代金の入金を確認後、発送いたします。
4. せっかく代金を振り込まれても、以下の場合は寄附金として処理されますので、ご注意ください。複数冊の名簿代を振り込まれた場合；名簿の購入はお一人一冊に限られています。

名簿購入のご案内

平成27年度 千葉大学大学院看護学研究科 教員紹介

専攻	講座	教育研究分野	専門領域	教授	准教授	講師	助教・助手	技術/事務補佐	
看護学	先端実践看護学	高度実践看護学	看護病態学	岡田 忍		小川 俊子		(技術専門職員) 西尾 淳子	
			小児看護学	中村 伸枝	佐藤 奈保		仲井 あや 金丸 友		
			成人看護学	眞嶋 朋子	増島麻里子		渡邊 美和 佐藤さやか ★橋 潤子		
		高齢社会実践看護学	老人看護学	正木 治恵	石橋みゆき		高橋 良幸 戸田由利亜		
			生体看護学	小宮山政敏	田中 裕二		藤田 水穂		
			健康増進看護学	リハビリテーション看護学	森 恵美	坂上 明子		小澤 治美 青木 恭子 岡村 実佳 ★小坂 麻衣	(特任准教授) (技術補佐員) 前原 邦江 三國 和美 (特任研究員) (事務補佐員) 岩田 裕子 山村 寿子
	健康管理看護学	北池 正		池崎 澄江					
	地域創成看護学	精神看護学				野崎 章子	舘 祥平		
		地域看護学	宮崎美砂子	石丸 美奈		飯野 理恵 時田 礼子		(事務補佐員) 形部 直子 星野久美子	
		訪問看護学	諏訪さゆり	辻村真由子		能川 琴子		(事務補佐員) 石田 弘美	
		文化看護学	理論看護学	山本 利江		永田亜希子	阿部由喜湖		
	文化創成看護学	専門職育成学	看護教育学	舟島なをみ	中山登志子			(技術職員) (事務補佐員) 小川 和代 戸田 禮子 (技術補佐員) (事務補佐員) 望月美知代	
看護政策・管理学		看護管理学	(吉本 照子)						
			(酒井 郁子)						
共同災害看護学	災害看護学	災害看護学	岩崎 弥生 (特任) 神藤 猛	(特任) 伊藤 尚子 (特任) 望月 由紀		(特任) 白井いつみ	(技術補佐員) 新村 佑子		
看護システム管理学	看護システム管理学	病院看護システム管理学	手島 恵			飯田貴映子			
		地域看護システム管理学	吉本 照子	杉田由加里			(事務補佐員) 佐々 佳江		
		ケア施設看護システム管理学	酒井 郁子			黒河内仙奈	(事務補佐員) 佐野 朋子		
附属看護実践研究指導センター		ケア開発研究部	野地 有子	黒田久美子	赤沼 智子		(事務補佐員) 時田 梨香		
		政策・教育開発研究部	和住 淑子	錢 淑君	今村恵美子				
附属専門職連携教育研究センター			(特任) 大塚眞理子		(特任) 宮古 紀宏 (特任) 藤沼 康樹	(特任) 山田 響子			

外部資金等講座	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	特任研究員/事務補
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン		長坂 育代			(事務補佐員) 白熊 慶子
エンドオブライフケア看護学 (日本財団)	長江 弘子			高橋 在也	(事務補佐員) (特任研究員) 磯谷 有由 岩城 典子
認定看護師教育課程 (乳がん看護分野)		阿部 恭子		井関 千裕	(事務補佐員) 友澤奈津子
FDマザーマップ開発				鈴木 友子	(事務補佐員) 北野 美加
文化看護国際共同研究センター		(望月 由紀)			
アジア圏における看護職の文化的能力の評価					(特任研究員) (事務補佐員) 炭谷 大輔 米田 礼

※ 下線…正会員 ★…産休・育休中 ()の名前…兼任者

平成27年度 千葉大学大学院看護学研究科 説明会

博士前期・後期課程(看護学専攻)、5年一貫性博士課程(共同災害看護学専攻)、修士課程(看護システム管理学専攻)

日時: 平成27年5月30日(土)
集合時間12:50 開催時間13:00

場所: 千葉大学看護学部 講義・実習室

- 内容: (1)看護学研究科の概要と特色
(2)各教育研究分野等教授紹介
(3)カリキュラムの説明
(4)大学院生からのメッセージ
(5)専攻別質問コーナー 大学院生との交流

参加希望の方は千葉大学看護学部大学院担当宛申し込んでください。
申し込み方法は次の事項を記載して、ハガキ、FAX、Eメール等でお送りください。平成27年5月22日(金)17:00で締め切ります。
お名前・ご住所・電話番号・Eメール・決定していれば志望教育研究分野(専門領域)を記載の上、大学院説明会参加希望と明記してください。

問い合わせ先

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 看護学部大学院学務係
TEL 043-226-2450 FAX 043-226-2382
Eメール: tae5667@office.chiba-u.jp
千葉大学看護学部ホームページ: <http://www.n.chiba-u.jp/>

※千葉大学看護学部は亥鼻キャンパスにあります。

J R 千葉駅又は京成千葉線の京成千葉駅下車、J R 千葉駅東口⑦番バス乗り場から京成バスを利用約15分、「千葉大学医学部入口」下車徒歩1分